



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 トランス・コスモス株式会社
 コード番号 9715 URL <https://www.trans-cosmos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日

上場取引所 東
 TEL 03-4363-1111

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	73,295	9.3	1,367		1,271	169.1	468	80.8
2019年3月期第1四半期	67,083	8.4	4		472	124.8	258	109.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 108百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 716百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	11.29	
2019年3月期第1四半期	6.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	134,610	73,778	52.1	1,691.89
2019年3月期	135,268	74,915	52.9	1,725.27

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 70,171百万円 2019年3月期 71,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		33.00	33.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	48,794,046 株	2019年3月期	48,794,046 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	7,318,827 株	2019年3月期	7,318,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	41,475,232 株	2019年3月期1Q	41,475,642 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は2019年7月31日(水)に当社ウェブサイトに掲載します。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、高水準な企業収益、設備投資の増加などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、先行きについては、米中貿易摩擦の激化、中国経済の減速、英国のEU離脱問題などに伴う世界経済への影響懸念などから不透明な状況が続いております。

当社グループが展開するサービスを取り巻く環境は、労働人口の減少、企業のグローバル化、IoT・AIをはじめとしたデジタル技術の進展などを背景に、引き続き、業務の効率化やコスト競争力の強化、売上拡大などに繋がるアウトソーシングサービスの需要が拡大しています。

このような状況の中、当社グループは、日本および中国・韓国を中心としたアジア市場でDECサービス・BPOサービスを積極的に展開し受注の増加につなげました。一方、サービスの競争力強化に向けて、引き続きデジタル技術などを活用したサービスの開発や品質の向上、海外でのサービス体制の強化などの取り組みに注力しています。

サービスの開発および品質の向上に向けた取り組みでは、当社独自の音声認識ソリューションである「transpeech」において、新たな機能として、感情解析を用いた評価機能を搭載し、さらにAIが自動でコールセンターの応対をチェックする「AIディフェンダー」を開発するなど機能拡充を図りました。また、ジャスミー株式会社が提唱する「Jasmy Initiative」に参画し、コンタクトセンター業務における顧客データの安全で効率的な利活用とデータの利便性向上を目的として、国内初のブロックチェーンを使用した本格的なコンタクトセンターアプリケーションの開発と実証実験に着手しました。また、オンライン上の実店舗情報を一括管理するソリューション群「Yext (イエクト)」の取り扱いを開始し、Yextに関連する開発・運用、カスタマーサポートまでを統合的に支援するYext特設チームを社内に設置しました。さらに、インターネット広告サービスを中心としたDECサービスの品質向上を目的に、広告運用業務のクラウド自動最適化ツール「Shirofune (シロフネ)」を大規模導入しました。これにより、広告運用作業の“自動最適化”による業務工数の削減と同時にPDCAサイクルの高速化によって、広告成果の向上を実現しました。

海外においては、ベトナムで、「ホーチミン第三センター」を新設、既存の「ハノイセンター」を拡張するなど、1,750席のオペレーション体制へと拡充しました。また中国では、中国子会社が「Alibabaデータバンク認証サービス企業」の認証を取得しました。これにより、データバンクを通じて、Alibabaのネットサービス上のすべての販売・広告チャネル、お客様企業のデータを活用したユーザー動向の把握、動向分析によるマーケティング活動の支援を実施することが可能となり、ブランドデータバンクを活用した分析、マーケティングサービスを提供していきます。さらに、需要拡大が見込まれるインバウンド（訪日外国人旅行者）向けデジタル広告・海外人材採用広告サービスなどの販売強化に向けて、マレーシアに「グローバルデジタルマーケティングセンター」を開設し、多言語の広告運用・クリエイティブ制作・現地向けソーシャルメディア運用などを行う「海外多言語広告運用サービス」の提供を開始しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高73,295百万円となり前年同期比9.3%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および収益性の改善などにより、営業利益は1,367百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常利益は、1,271百万円となり前年同期比169.1%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は468百万円となり前年同期比80.8%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービスの需要拡大などにより、売上高は53,279百万円と前年同期比6.6%の増収となりました。セグメント利益は、受注業務の採算性改善や販管費率の低下による収益性の改善により991百万円（前年同期はセグメント損失57百万円）となりました。

(国内関係会社)

国内関係会社につきましては、上場子会社をはじめ受注が好調に推移したことや新規連結子会社の影響で、売上高は6,294百万円と前年同期比29.5%の増収となり、セグメント利益につきましては、上場子会社の収益性改善などにより473百万円と前年同期比228.0%の増益となりました。

(海外関係会社)

海外関係会社につきましては、中国、韓国におけるサービスの受注が好調に推移し、売上高は15,921百万円と前年同期比12.6%の増収となりました。一方、損益については、韓国子会社における新規案件立ち上げ等の影響もあり、セグメント損失93百万円（前年同期はセグメント損失82百万円）となりました。

なお、セグメント損益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて658百万円減少し、134,610百万円となりました。主な要因は、前期末の売上債権の回収等による「受取手形及び売掛金」の減少や、前期決算に係る法人税等の納付および配当金の支払等による「現金及び預金」の減少によるものであります。

負債の部につきましては、前期末の債務の支払等による「未払金」の減少等がありましたが、当期支給対象期間分の引当積み増しによる「賞与引当金」の増加などで前連結会計年度末に比べて477百万円増加し、60,831百万円となりました。

純資産の部につきましては、1,136百万円減少し、73,778百万円となり、自己資本比率は52.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期については、引き続きお客様企業の売上拡大・コスト最適化といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、アジア市場を中心としたグローバルで事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの2020年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,032	34,689
受取手形及び売掛金	44,746	43,366
商品及び製品	2,850	2,247
仕掛品	1,090	1,123
貯蔵品	48	51
その他	5,324	6,837
貸倒引当金	△258	△258
流動資産合計	89,835	88,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,851	4,776
工具、器具及び備品（純額）	3,877	3,920
土地	831	829
その他（純額）	837	871
有形固定資産合計	10,398	10,397
無形固定資産		
のれん	417	780
ソフトウェア	2,538	2,540
その他	577	653
無形固定資産合計	3,534	3,974
投資その他の資産		
投資有価証券	8,737	8,164
関係会社株式	6,782	6,228
関係会社出資金	5,948	7,253
繰延税金資産	1,785	2,240
差入保証金	7,638	7,663
その他	1,130	1,156
貸倒引当金	△522	△526
投資その他の資産合計	31,501	32,179
固定資産合計	45,433	46,551
資産合計	135,268	134,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,554	11,836
短期借入金	1,763	1,197
1年内償還予定の社債	7	14
1年内返済予定の長期借入金	1,758	1,758
未払金	5,319	4,381
未払費用	14,446	14,748
未払法人税等	2,323	1,597
未払消費税等	4,031	3,636
賞与引当金	3,793	5,584
その他	3,124	3,987
流動負債合計	48,121	48,742
固定負債		
社債	25	68
転換社債型新株予約権付社債	10,017	10,014
長期借入金	96	121
繰延税金負債	1,261	1,085
退職給付に係る負債	26	24
その他	804	773
固定負債合計	12,232	12,088
負債合計	60,353	60,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	17,755	17,785
利益剰余金	36,261	35,360
自己株式	△15,235	△15,235
株主資本合計	67,847	66,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,470	3,852
為替換算調整勘定	△761	△657
その他の包括利益累計額合計	3,708	3,195
新株予約権	3	3
非支配株主持分	3,355	3,603
純資産合計	74,915	73,778
負債純資産合計	135,268	134,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	67,083	73,295
売上原価	56,497	61,217
売上総利益	10,585	12,078
販売費及び一般管理費	10,590	10,710
営業利益又は営業損失(△)	△4	1,367
営業外収益		
受取利息	16	42
受取配当金	114	11
投資事業組合運用益	482	—
助成金収入	24	34
その他	75	24
営業外収益合計	714	112
営業外費用		
支払利息	24	12
持分法による投資損失	45	—
為替差損	121	122
その他	46	73
営業外費用合計	237	208
経常利益	472	1,271
特別利益		
投資有価証券売却益	158	24
企業立地助成金等	42	37
段階取得に係る差益	—	26
その他	10	13
特別利益合計	211	101
特別損失		
固定資産除却損	8	38
減損損失	3	5
投資有価証券評価損	—	15
関係会社株式売却損	48	—
その他	3	0
特別損失合計	64	60
税金等調整前四半期純利益	619	1,313
法人税、住民税及び事業税	721	1,090
法人税等調整額	△343	△400
法人税等合計	377	689
四半期純利益	241	624
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	156
親会社株主に帰属する四半期純利益	258	468

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	241	624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	△620
為替換算調整勘定	△624	102
持分法適用会社に対する持分相当額	△395	2
その他の包括利益合計	△958	△515
四半期包括利益	△716	108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△684	△45
非支配株主に係る四半期包括利益	△32	154

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,894	4,065	13,123	67,083	—	67,083
セグメント間の内部 売上高または振替高	91	793	1,017	1,902	△1,902	—
計	49,985	4,859	14,140	68,985	△1,902	67,083
セグメント利益 または損失 (△)	△57	144	△82	4	△8	△4

(注) 1 セグメント利益または損失 (△) の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益または損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,095	5,454	14,745	73,295	—	73,295
セグメント間の内部 売上高または振替高	184	839	1,175	2,199	△2,199	—
計	53,279	6,294	15,921	75,495	△2,199	73,295
セグメント利益 または損失 (△)	991	473	△93	1,370	△3	1,367

(注) 1 セグメント利益または損失 (△) の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益または損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。